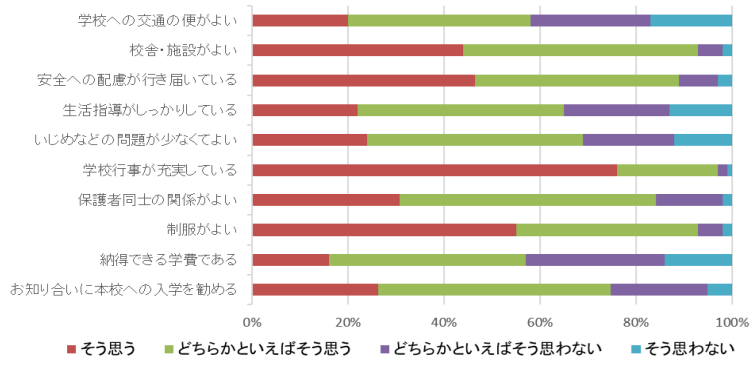
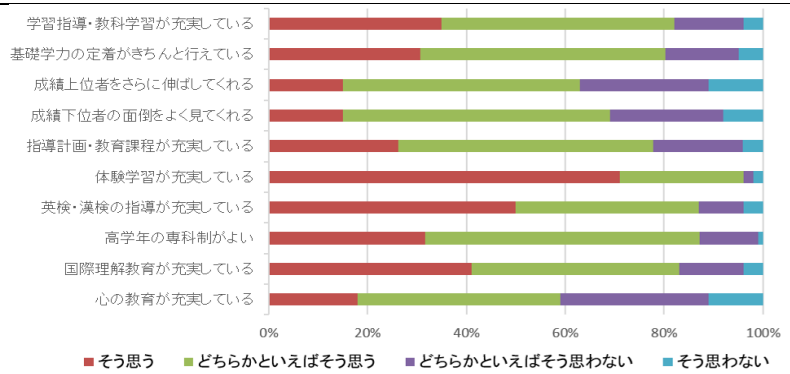
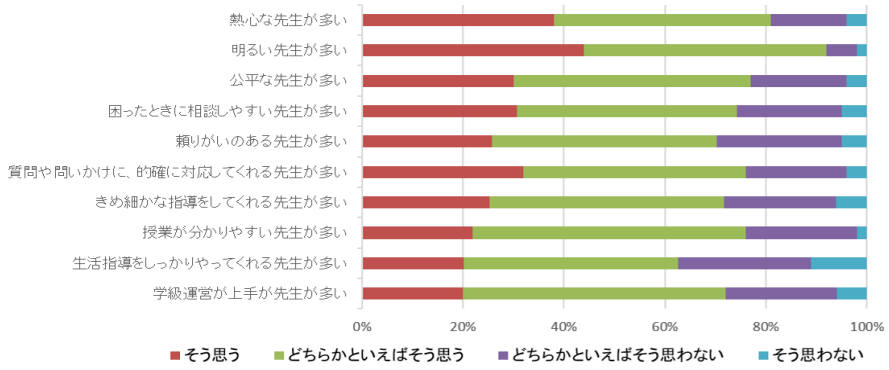
令和7年度 西武学園文理小学校自己評価表

目指す学校像	「学ぶ楽しさ」を知り、豊かな知性と人間性を備えた真の国際人となるための基礎作りをする。	凡例	A　ほぼ達成　　（8割以上）
			B　おおむね達成（6割以上）
重点目標	「こころ」「知性」「国際性」をバランスよく身につけた児童の育成を目指し、学習指導および生活指導の充実を図る。		C　変化の兆し　（4割以上）
			D　不十分　　（4割未満）

年度課題			年度評価		次年度への課題と改善策
No.	課題	具体的目標	課題項目の達成状況	達成度	
1	教育活動	こころを育てる	SELの考え方を教育活動に取り入れ、自分の気持ちを理解し適切に表現する力や、相手の立場や気持ちを考える力を育みました。日々の授業や生活の中で、自分と他者を大切にし、互いに思いやる心を育てる取り組みを進めました。	B	自分や他者の気持ちを理解し大切にする力を、日常の授業や生活場面で継続的に育み、思いやりのある行動の定着を図ります。
			あいさつの励行と公共交通機関でのマナー向上に継続して取り組みました。日常的な声かけや全校集会での指導を通して、相手を意識した気持ちのよいあいさつや、周囲に配慮して安全に行動する意識を育てました。	B	児童が自ら進んであいさつする習慣を定着させるとともに、登下校時のマナー指導を徹底し、地域からの苦情ゼロを目指します。
		知性を育てる	UDLの考え方を取り入れ、児童一人ひとりの学び方や理解の違いに応じた授業づくりを進めました。学習内容の提示方法や取り組み方に選択肢を設けることで、すべての児童が主体的に学び、自分の力を発揮できる授業を目指しました。	B	一人ひとりの学び方を尊重しながら、授業のルールや他者への配慮も大切にし、全員が安心して学べる授業づくりを進めます。
			iPadやロイロノートを積極的に活用し、資料の提示や意見共有、協働学習など、多様な授業展開を進めました。児童が自分の考えを表現し、互いの意見を共有する機会を増やすことで、主体的で対話的な学びにつなげました。	A	ICTの利便性と危険性を正しく理解し、適切なルールやマナーを守りながら、自ら判断して安全に活用できる力を育てます。
		国際性を育てる	文理イマージョンとして、音楽・図工・体育・情報の授業を日本人教員とALTによるティームティーチングで実施しました。教科の学びを通して自然に英語に触れるとともに、日常的にALTとコミュニケーションをとることができる環境を整えました。	B	日本人教員とALTを分け隔てなく教員として捉え、児童が誰とでも積極的に関わり、自然にコミュニケーションを図れる環境づくりを進めます。
			5年生でイギリス短期留学、6年生でアメリカ研修を実施し、現地での生活や交流を通して、実践的な英語力や異文化への理解を深めました。また、海外でのさまざまな体験を通して、児童の主体性や自立心の育成につなげることができました。	A	海外研修に加え、年間を通じた国際交流の機会を設け、継続的に英語を活用し、異文化理解を深めます。
2	学校運営	組織運営	児童支援委員会を定期的に開催し、児童の状況や指導上の課題を共有することで、児童理解と指導方針の共通理解を図りました。学年や担任だけで抱え込まず、学校全体で情報を共有し、組織的かつ継続的な児童支援につなげました。	B	担任や学年が課題を抱え込まず、教職員間で情報を共有し、学校全体で迅速かつ組織的に支援する体制をさらに強化します。
			報告・連絡・相談の徹底を図るとともに、報告用フォームを作成し、児童に関する情報や対応の記録を蓄積しました。必要な情報を教職員間で共有し、継続的かつ組織的な対応につなげる体制を整えました。	B	報告フォームの煩雑さを軽減し、必要な情報を確実かつ効率的に共有できる仕組みに改善し、迅速な対応につなげます。
		人材育成	UDL・SEL・いじめ防止・体罰防止・ICT活用など、多様な研修を実施しました。教育課題への理解を深め、研修内容を日々の授業や児童指導に生かすことで、教職員の専門性と指導力の向上を図り、継続的なスキルアップを後押ししました。	A	研修内容を精選し、教育課題や教職員のニーズに応じた必要性の高い研修を実施することで、負担軽減と効果的な人材育成を図ります。
			教職員の自己研鑽を推奨し、外部研修や各種講座の情報を積極的に紹介しました。夏季休業等を活用して自主的に研修へ参加する教員が増え、専門性の向上や新たな知識・指導方法の習得など、学び続ける意識の醸成につながりました。	B	教職員が自身の課題に気づくとともに、課題や関心に応じて主体的に学び、自己研鑽を続けられる環境を整えます。
		情報発信	月1回、学校通信・学年通信を発行し、教育活動への理解を深めるための情報発信に努めました。また、学期に1回保護者会を実施し、学校の方針や児童の様子を共有することで、保護者と教員の相互理解と信頼関係の構築を図りました。	B	情報発信のDX化を進め、教職員の負担を軽減しながら、保護者への迅速な情報共有とさらなる連携強化を図ります。
			学校HPに日々の授業や行事の様子を写真とともに掲載し、教育活動の積極的な発信に努めました。また、教職員の役割分担を明確にすることで更新頻度を高め、学校の様子をタイムリーに保護者や地域へ伝える体制を整えました。	B	学校HPに加えてSNSを効果的に活用し、教育活動や学校の魅力をタイムリーに発信することで、広報活動のさらなる充実を図ります。

令和7年度 西武学園文理小学校学校関係者評価

目指す学校像	「学ぶ楽しさ」を知り、豊かな知性と人間性を備えた真の国際人となるための基礎作りをする。
重点目標	「こころ」「知性」「国際性」をバランスよく身につけた児童の育成を目指し、学習指導および生活指導の充実を図る。

評価項目	学校関係者評価	次年度への課題と改善策	意見・要望など
総合的評価		生活指導の方針を教職員で共有し、あいさつや登下校マナー等の指導を徹底するとともに、家庭との連携を強化し、児童の規範意識の向上を図ります。 教育内容や教育環境の充実を図り、その成果や学校ならではの教育の価値を丁寧に発信することで、学費に対する納得感の向上を図ります。 行事の教育的意義をさらに高め、児童が主体的に参加し、達成感や成長を実感できる、より充実した行事づくりを進めます。	・校風や学校の教育方針には非常に行き届いており、とても素敵な学校であると感じる反面、公共でのマナーや制服の着こなし、挨拶ができないなど、より根本的な部分の指導は少し厳しさを残してでも十分に指導していただきたい。 ・設備面では図書館もうすこし広く、本もたくさんあればよいと思います。 ・三者面談ではなく先生と親のみの面談の機会が欲しいです。 ・スケジュール調整のため、行事連絡等の早期化をお願いします。 ・指定コートにつきまして…黒など色指定のうえで、ダウンも着用可としていただけますと幸いです。
学習指導評価		児童一人ひとりの学習状況を的確に把握し、発展的な学習と基礎・基本の定着を図る個別支援を充実させ、すべての児童の学力向上を図ります。 日々の教育活動を通して、自他を大切にし、思いやりをもって行動する心を育てます。 高学年の教科担任制を生かし、教科の専門性を高めるとともに、より質の高い授業づくりを進めます。	・学習指導については素晴らしいと思います。 ・各自でドリルに取り組む形が中心のように見受けられますが、新出漢字については学校での丁寧なご指導もお願いできれば幸いです。 ・欠席した際の学習フォローをしていただけるとありがたいです。 ・授業内容に沿った宿題を出していただけますと、家庭での復習にもつながり大変助かります。 ・支援が必要な児童のケアに追われることなく色んな面でできる子を伸ばすことにも力を入れて欲しいです。 ・英語教育、体験学習については文句なく素晴らしかったと思っております。
教員評価		あいさつ、言葉遣い、授業態度、登下校マナーなどの指導基準を教職員で共有し、全教職員が一貫した生活指導を行います。 教員一人ひとりの熱意や明るさを生かし、児童に寄り添いながら、安心して楽しく学べる学校づくりを進めます。 日頃から児童との対話を大切にし、相談しやすい関係づくりを進めるとともに、相談には迅速かつ丁寧に対応し、児童が安心して頼れる教員を増やします。	・先生は、どうして悪いのかよく子供に考えさせてくれました。学校で本人と話したことや本人が成長したことも家庭に共有してくれました。 ・帰りのスクールバスにおいてトラブルがあり、子供本人の希望で先生にお電話をさせていただいた際には、すばやく的確に対応をしてくださり、とても頼りがいがある先生が見てくださっていて、大変安心いたしました。 ・ある教科に関してはその先生独自の教え方が子供に負担になってしまっていることがある。 ・先生方の働き方などが充実してはじめて子どもへの指導もさらに向上していくと思います。